

## 脚立・三脚からの転落に注意！

～脚立・三脚は身近な用具ですが危険が潜んでいます～

脚立や三脚は誰でも使用する身近な用具ですが、使用方法を誤ると転落事故につながる危険性があります。例え慣れた作業だとしても、その都度、安全対策・安全確認を行いましょう。

### 事件事例1 バランスを崩して脚立から転落

【事故概要】杭打機の組立のため、作業員が脚立（高さ1.2m）に登り、連結ボルトをラチェットレンチ（ボルトやナットを連続的に回すことができる工具）で締める作業を行っていた。

レンチで手前に閉めている最中に歯刻みが破損し、その際バランスを崩して、脚立から敷鉄板上に後向きに転落した。

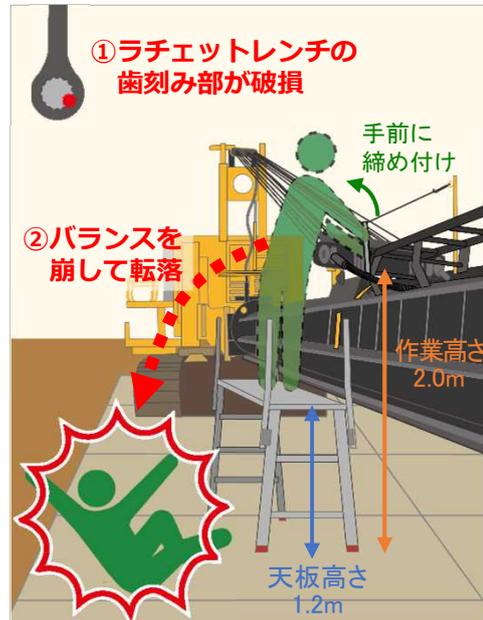
墜落制止用器具を使用していなかったが、2.0m以下のため安衛法上の違反はない。

【主な要因】事前にラチェットレンチの点検を行い、問題はないと認識していたが、疲労によりレンチが破損したことが原因の予期出来ない事故。

【再発防止対策】①脚立からの転落を想定し、地面にクッションマットを設置する。

②連結ボルトの施工時に、親綱を設け安全帯を着用する。

③脚立使用時に脚立を補助する作業員を配置する。



### 事件事例2 枝の落下により三脚と共に転倒

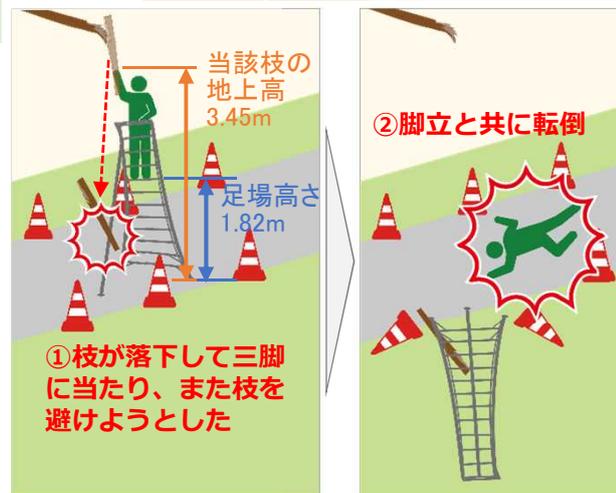
【事故概要】公園園路上に三脚（10尺、2.9m）を設置して、上から4段目の踏み板に足をかけ、3点支持をしながら折れてぶら下がっていたサクラの枯枝の腐朽具合を確認していた。

折れ枝を右手でねじったところ枝が折れて落下し、枝が三脚に当たり、また枝を避けようとして3点支持のバランスが崩れたことから転倒した。

【主な要因】枯枝が落下する危険性を意識せず、不用意に枝を持ち、ねじる作業を行った作業員の油断・軽視から生じた事故。

【再発防止対策】①関係者全員に事故概要と再発防止徹底の文書を配布する。

②職員全体研修の際に事件事例を用いて再発防止講習を行い、意識の徹底を図る。



## 事故防止ポイント

- 2m以上の高所で作業をするときはフルハーネスの着用が定められています。2m以下の場所でも必ずヘルメットを着用するようにしましょう。
- 脚立または三脚の上で作業をするときは、定められた踏棧に乗り、天板や踏棧に身体を当て、安定させた状態で作業をしましょう。

210cm以下の脚立  
天板を含め上から  
2段目以下の踏棧に乗り

240cm以上の脚立  
天板を含め上から3段目以下  
の踏棧に乗り

開き止め金具は  
確実にロックする

開き止め(チェーン  
など)を必ずかける

水平面との  
角度は75度以下

180cm以下の三脚  
天板を含め上から3段目  
以下の踏棧に乗り

210cm以上の三脚  
天板を含め上から4段目  
以下の踏棧に乗り

脚立・三脚での作業を軽視せず、正しい設置方法・使い方で作業を行いましょう。

# 新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願いします。

～ 感染しない・させない行動を！ ～

ご存知のとおり、新型コロナウイルスの変異株のひとつであるオミクロン株が猛威を振るっています。オミクロン株は感染拡大の速度が非常に早く、全国的に感染者が増加している状況です。オミクロン株に対しても基本的な感染症対策が有効です。マスクの正しい着用、手洗い、うがい、三密(密接、密集、密閉)の回避などを継続して取り組みましょう。



マスクを正しく  
着用する



しっかりと  
手洗い/消毒をする

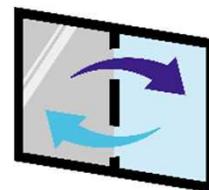
密接しない



密集しない



密閉しない



体調不良を感じたら外出しない



## 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、他の人に感染させているのはどのくらい？

新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、他の人に感染させているのは2割以下で、多くの人は他の人に感染させていないと考えられています。

このため、感染防護なしに3密(密閉・密集・密接)の環境で多くの人と接するなどによって1人の感染者が何人もの人に感染させてしまうことがなければ、新型コロナウイルス感染症の流行を抑えることができます。

体調が悪いときは不要・不急の外出を控えることや、人と接するときにはマスクを着用することなど、新型コロナウイルスに感染していた場合に多くの人に感染させることのないよう行動することが大切です。

## 新型コロナワクチンの有効性や安全性は？

### ○ワクチンの有効性について

新型コロナウイルス感染症を予防する効果があります。接種を受けた人が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した(熱が出たり、せきが出たりする)人が少ないということがわかっています。(発症予防効果は約70～95%※と報告されています。)また、感染や重症化を予防する効果も確認されています。※コミナティ、スパイクバックス、バキスゼブリア添付文書より

### ○ワクチンの安全性について

接種後に注射した部分の痛み、疲労、頭痛などが接種した人の50%以上、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱などが10%以上に見られると報告されています。こうした症状の大部分は数日以内に回復しています。

(引用：新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識(2022年1月版)、厚生労働省)

1人ひとりの行動が大切な人と私たちの日常を守ることにつながります。



建設業年度末労働災害防止強調月間 令和4年3月1日～31日

主唱：建設業労働災害防止協会 後援：厚生労働省、国土交通省

安全対策と作業確認をしっかりと行い、無事故・無災害で新年度を迎えましょう。